入学時期:	4 月生	学科:	上級行政科	コース:	19 ヵ月	クラス	
科目名:	**判断推理**					年次:	**2 年次**
担当者:	山口　祥平	単位:	5 単位	授業時間:	75 時間		

■授業概要・方法等

判断推理は教養試験（基礎能力試験）で出題される科目で、論理的思考力、推理力、判断力など一般知能を試す科目である。公務員の業務においても様々な情報を整理し、先のことを予測・判断する力が必要となる。本科目では、「文章問題」「空間把握」と大きく2つに分け、文章中の条件や、イメージするしかない図形の情報をいかに整理するのか、再度基礎から復習、問題の演習を通して効率的な情報の整理の仕方を身につける。

■学習・教育目標及び到達目標

条件を分析し、どのようにすれば正確にかつ効率的に整理できるのかを基礎的な知識を応用して考え、大学卒業程度の試験を解けるようになる。

■成績評価方法および基準

- 出席状況･･･　50%　※出席状況はレポートおよび確認テストの提出により評価する。
- 確認テスト･･･　50%　※確認テストの合計点を 50 点満点に換算する。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

『判断推理　基礎演習【文章】』、『判断推理　基礎演習【空間】』（本校独自）
『判断推理　上級分野別過去問【文章】』、『判断推理　上級分野別過去問【空間】』（本校独自）
他、試験種別過去問

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【判断】

時　数			内　容
1	～	2	命題
3	～	4	対応関係
5	～	6	比較･順序
7	～	7	位置
8	～	8	うそつき
9	～	10	（予備）
11	～	11	試合と勝敗
12	～	12	方位

13	～	14	軌跡
15	～	15	正多面体
16	～	16	展開図
17	～	17	さいころ
18	～	18	立体図形の分割構成
19	～	19	立体の切断
20	～	20	投影図
21	～	21	平面図形の分割構成
22	～	22	折り紙と回転体
23	～	23	暗号
24	～	24	手順
25	～	25	文）その他の問題
26	～	26	図）一筆書き・串刺し
27	～	27	図）着色・串刺し
28	～	～	職種別過去問演習

■履修にあたっての注意事項

■その他